



みんなでつなごう！支えあいの輪！  
～生活支援コーディネーター通信～



第39号  
令和8年8月発行  
高崎市生活支援  
コーディネーター  
通信

# めざせ！ワンハート

## みなさまへ

8月に入り、厳しい暑さが続いています。皆さんいかがお過ごしでしょうか。こまめな水分補給を心がけ、無理をせず、この夏を元気に乗り切りましょう。

7月には、第2層協議体住民メンバーを対象とした勉強会を開催しました。勉強会終了後、各第2層協議体では振り返りを行い、「できることを探していこう」「敷居を下げて考えていこう」「まずはやってみよう」といった前向きな意見が多く聞かれ、活発な意見交換が行われました。勉強会で学んだ内容を各協議体に持ち帰り、メンバー同士で生活支援体制整備事業の目的を改めて確認し、今後の協議体活動に活かしていきます。

今号では、協議体の役割と機能についても改めて紹介しています。ぜひご覧ください。

## 第2層協議体住民メンバー勉強会開催



7月16日（木）に高崎市総合保健センター、7月22日（水）に高崎市榛名公民館で、第2層協議体住民メンバー向け勉強会を開催しました。2日間で、第2層協議体住民メンバー178名、関係者を含めると256名の皆さんにご参加いただきました。多くの皆さんにご参加いただき、ありがとうございました。勉強会で得た学びや気づきを、それぞれの協議体で共有し、今後の活動にぜひ活かしていきます。

協議体の機能や役割  
参加者の声を  
4ページ目に掲載！

## 第1層生活支援コーディネーターよりお願い



生活支援コーディネーター通信は、市内外の協議体の取り組みや様々な助け合い活動を紹介したいと思っています。市内の活動で掲載して欲しい活動があればコーディネーターまでご連絡ください。その他、ご意見、ご感想もお寄せください。お待ちしております。また、**「新しく支え合い活動を立ち上げたい」、「既存の活動を今後どうしていけばよいのか困っている」**そうしたみなさんからの相談も第1層生活支援コーディネーターまでお気軽にお声がけください。



## 市内の様々な地域で勉強会を開催しています

中居・矢中地区  
(中居)



【目的】新たに登録したサポーターが協議体に参加したことを踏まえ、地域支援サポーター養成講座を通して、既存の第2層協議体メンバーとともに事業への理解を深める。

【内容】SCから支援が必要な背景について、社会福祉協議会からボランティア活動の心構えについて、あんしんセンターから市内の活動事例について紹介した後、中居地区の活動について第2層協議体メンバーが紹介しました。

豊岡地区



【目的】新しい民生委員や協議体について知らない地域住民への周知を図るとともに、第2層協議体メンバーの事業への理解を深める。

【内容】事業の背景や協議体の機能・役割、市内の活動事例を紹介した後、その内容を踏まえ、参加者同士で地域課題や自分たちにできることについて意見交換を行いました。



倉賀野地区



【目的】サポーター同士の交流を図るとともに、新たな担い手を募集し、地域活動への理解を深め、住民同士の情報交換を促進する。

【内容】これまでの倉賀野協議体の活動（見守り活動や「くらカフェ」など）について紹介した後、身近な地域で自分にできる活動について意見交換を行い、最後に振り返りを行いました。

高松地区



【目的】周知活動で支援活動に興味があると回答した方や区長、民生委員を対象に事業の周知を図るとともに、第2層協議体メンバーの事業への理解を深める。

【内容】SCから支援が必要な背景について説明した後、参加者同士で地域の現状や支援活動について情報交換を行いました。



### 中居・矢中地区 (矢中)



【目的】地域住民にも協議体について広く知ってもらい、新たな第2層協議体メンバーの確保につなげる。

【内容】これまで民生委員を中心に第2層協議体メンバーを募ってきましたが、今回は地域住民にも広く参加を呼びかけました。SCから支え合いが必要な背景や他地区の取組について紹介した後、第2層協議体メンバーが地域での取組を紹介し、住民同士で座談会を行いました。

### 佐野地区



【目的】地域のキーマン（区長・民生委員・地域づくり活動協議会メンバーなど）に協議体の役割や協議体から生まれた活動について周知する。

【内容】SCから支え合いが必要な背景や他地区の取組について説明した後、協議体から生まれた活動について第2層協議体メンバーが紹介しました。

### 城東・東部地区

## 3 サポ向け勉強会と情報交換会を開催



【目的】地域支え合いサポーター・介護予防サポーター・オレンジサポーターを対象に勉強会と情報交換会を開催し、日常的な連携を図るとともに、地域での支え合い活動の充実につなげる。

【経緯】城東・東部協議体では、サロンや居場所づくりに取り組む担い手同士が交流する機会や、担い手養成後のフォローアップの機会が少ないという課題がありました。そこで、改めて勉強会を開催し、担い手同士のつながりを再構築したいという声が上がったことから、今回の開催に至りました。

【様子】当日は、SCから支え合いが必要な背景や協議体の機能・役割、活動事例、社会参加のメリットについて説明した後、近くの席の参加者同士でグループワークを行い、情報交換を行いました。参加者からは、「3サポーターと民生委員が連携しながら活動に取り組みたい」「みんなで気軽に話ができる場をつくりたい」「小さな単位で行っている活動を大切にしていきたい」といった声が聞かれました。

【今後】今後も、3サポーター同士や地域の社会資源との連携を深めながら、地域でできることを考え、活動につなげていきます。

## 第2層協議体住民メンバー勉強会参加者の声・協議体の機能と役割

### 参加者の声

地域の人たちに  
この活動の必要性を  
知ってほしい

より身近なことに気づき  
その輪を広げることが大切だ  
と感じた

小さい活動でも継続が  
大切だと感じた

見学に行き、少しずつ  
活動につなげたい

自分のできることを  
積み重ねて地域に  
かかわりたい

今回のような勉強会を  
もっと開催してほしい

地域のニーズを  
もっと掘り起こして  
聞いてみたい  
みんなで解決できる  
プロセスを考え直したい

他地区の情報をもっと  
聞いてみたい

自分の地域にある困りごとを見つけ  
解決する努力をしていきたい

協議体って何するの？  
どんなことをするの？  
協議体って説明するの  
が難しい…

ぜひ、今回の勉強会  
を踏まえ、振り返り  
をしましょう！

### 協議体の機能

#### 目指す地域像の共有

5年後10年後こういう  
地域になったらいいね

#### 地域の困り事や

#### ニーズを調査

アンケート調査等

#### 地域の困り事やニーズ

#### を支えている資源

#### を調べる

どんな地域資源があるか？

#### 地域の困りごとに

#### お互いさまで支え合う

#### 担い手を育てる

地域ニーズに対応できる手を増やす  
ネットワークを構築する

#### 新たな活動を生み出す

地域に足りない助け合い活動を  
協議体の中で考える

#### 周知・情報発信

#### 仲間づくり・連携強化

多様な主体へ働きかけ

## 6・7月の第1層協議体の話し合いの内容

6月

### ＜住民企画会議＞

- ① 第2層協議体メンバー勉強会について
  - ・内容について確認
- ② 第2層協議体がより活動しやすいようにバックアップしよう！
  - ・意見交換をしやすいようにグループワークでアイデア出し

### ＜事業推進会議＞

#### 【事例検討】

- ・八幡協議体の事例
- ① あんしんセンターの業務を活かした活動創出について
- ② 多様な主体との連携のプロセスについて

7月

### ＜住民企画会議＞

- ① 第2層協議体メンバー勉強会について
  - ・アンケートについて検討
  - ・勉強会後の振り返りの重要性について確認
- ② 「居場所づくり」をテーマに意見交換
  - ～第2層協議体がより活動しやすいように課題となっていることを共有～

### ＜事業推進会議＞

#### 【グループワーク】

～テーマ～

- 「居場所や生活支援を広げる妨げになっている課題」
- 第2層協議体の推進役として、どのように進めていくか。

発行元：高崎市第1層生活支援コーディネーター  
連絡先☎：027-321-1319（高崎市長寿社会課）

高崎市HP お互いさまで支え合う地域づくり（生活支援体制整備事業）  
<https://www.city.takasaki.gunma.jp/page/1383.html>

